

# 区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

## 民主党 葛飾

### 接遇体制と 自動二輪車の駐車対策

#### 接遇

問 区民からのクレームをどのように施策やサービス向上に生かしているのか。今後は、どのように生かしていくのか伺う。

答 従前から職場内でクレーム事例を分析・検討することにより、改善などにつなげてきた。今後は、より積極的に受け止め、有用な意見を施策に生かすことができる体制を整えられよう検討していきたい。

問 外部機関に依頼し、職員の研修後の接遇に対する診断や検証を行うべきと考えるがいかがか。

答 研修で体得した接遇スキルが職場でどう実践されているかを診断し検証することは重要である。今後、診断検証の有効な方法について研究していく。

※他の質問項目 接遇要員の育成体制と今後の計画 など

### 自動二輪車の駐車対策

問 区では自動二輪車の駐車場問題について、どのような認識で取り組もうとしているのか。



駐車風景

答 違法駐車防止とともに自動二輪車利用者の利便性の向上を図り、安全で快適な交通環境を整備するため、ドライバードライバーのモラル向上の指導・啓発活動を行い、駐車場の整備に取り

組んできた。今後とも、社会状況の変化や利用状況などを把握し、自動二輪車駐車場の整備を図っていく必要があると考えている。

問 区民からのクレームをどのように施策やサービス向上に生かしているのか。今後は、どのように生かしていくのか伺う。

答 従前から職場内でクレーム事例を分析・検討することにより、改善などにつなげてきた。今後は、より積極的に受け止め、有用な意見を施策に生かすことができる体制を整えられよう検討していきたい。

問 本区は介護予防をどのように捉えているのか。また、区として横断的な組織による取り組みが必要と考えるが、考え方や今後の方針を伺う。

答 元気な高齢者が豊かな知識や経験を地域で生かすため、社会参加や生きがいづくりなど事業計画に盛り込み積極的に取り組んでいる。今後の計画においても「はつらつ」「あしん」

問 本区は介護予防をどのように捉えているのか。また、区として横断的な組織による取り組みが必要と考えるが、考え方や今後の方針を伺う。

答 元気な高齢者が豊かな知識や経験を地域で生かすため、社会参加や生きがいづくりなど事業計画に盛り込み積極的に取り組んでいる。今後の計画においても「はつらつ」「あしん」

問 特定高齢者の介護予防事業への参加状況を伺う。また、参加者へのアプローチの仕方など区の考えを伺う。

答 平成18年度は77人、19年度は152人が参加した。一人でも多くの方に参加を促すため、広報かつしかや講演会など、あらゆる機会を通じて必要性を周知していく。

※他の質問項目 介護予防サークルの周知 など

### 自由民主党議員団

地震や水害に対し、区民の生命と財産を守る対策と準備を

耐震化対策と総合庁舎の建替えの検討状況

問 保育園や幼稚園の耐震化対策は、どのような状況にあるか。

答 保育園は11園で耐震診断を実施し、補強が必要な10園のうち、8園で補強工事を実施した。幼稚園は昨年度診断を行い、2園で今年度実施設計、来年度補強工事を行う。

問 本庁舎整備の手法や資金計画などを早い時期から検討すべきではないか。

問 区民からのクレームをどのように施策やサービス向上に生かしているのか。今後は、どのように生かしていくのか伺う。

答 従前から職場内でクレーム事例を分析・検討することにより、改善などにつなげてきた。今後は、より積極的に受け止め、有用な意見を施策に生かすことができる体制を整えられよう検討していきたい。

問 都市計画マスタープランの改定

問 河川を活用した街づくりや、葛飾固有の地域、観光資源を生かした夢づくりの将来像を描く必要があると思うがどうか。

答 本区の地理特性や歴史的・文化的背景などを踏まえ、魅力的な街を形成する上で何が必要かを検証して、整備、開発及び保全を進める。

※他の質問項目 改定の主眼 など

問 水元公園と新宿六丁目を結ぶ補助276号線を緑の回廊として創出してはどうか。また、街路樹整備は緑が実感できる樹木を選定すべきと思うが、今後の区の取り組みを伺う。

答 水元公園と新宿六丁目を結ぶ補助276号線を緑の回廊として創出してはどうか。また、街路樹整備は緑が実感できる樹木を選定すべきと思うが、今後の区の取り組みを伺う。



並木道

問 北部地域水と緑のネットワーク構想の中で、補助276号線を水元回廊として位置づけのシンボルとなるような並木道の検討を進めている。また、地域の特性をとりながら緑が実感できる樹木を選定する努力をする。

問 こみの積み残しゼロの取り組み体制と区民への周知方法を伺う。

答 広報紙やリサイクル情報紙の特集、収集曜日カレンダーの全戸配布、300回を超える説明会などを行った。今後もピラの全戸配布や集積所の掲示などのPRとともに、青空集会や戸別訪問による指導などを行う。

問 本庁舎整備の手法や資金計画などを早い時期から検討すべきではないか。

問 区民からのクレームをどのように施策やサービス向上に生かしているのか。今後は、どのように生かしていくのか伺う。

答 従前から職場内でクレーム事例を分析・検討することにより、改善などにつなげてきた。今後は、より積極的に受け止め、有用な意見を施策に生かすことができる体制を整えられよう検討していきたい。

問 区民の不満や不安を取り除くためにどのような工夫や努力をして理解を求めているのか。また、十分なPRをして説明を行っているのか。

答 区民の不満や不安を取り除くためにどのような工夫や努力をして理解を求めているのか。また、十分なPRをして説明を行っているのか。

問 高齢者が住みなれた地域で生き生きと暮らすためには、身近な地域での支え合い、助け合いの仕組みの構築が必要と思うが区の考えを伺う。

答 第四期高齢者福祉計画策定の中で、身近な地域で人々とふれあい、互いに支え合い、助け合うことが可能となるような仕組み作りと施策展開を検討していきたい。

※他の質問項目 住宅用火災警報器の設置に係る支援策 など

問 地域間における「健康格差」

問 本区の平均寿命が他自治体と比べ向上していない原因と保健福祉施策の評価を伺う。また、喫煙率やがん死亡率の平均寿命に与える影響を伺う。

答 23区内の順位は低く、区部東部地域に共通したもので、地域的・社会的要因があると推測する。従来の施策は病気の早期発見・早期治療の側面が強かった。今後は若い年代からの生活習慣の改善など予防重視に切りかえていきたい。また、平均寿命に影響があるがん対策は、さらなる充実を図っていく。

※他の質問項目 施策の目標 など

問 保育指針の改定を踏まえた本区の公立保育園の取り組み

問 保育園と療育機関をつなぐ中間的な機能を設置し、保育園への助言や保

問 区民からのクレームをどのように施策やサービス向上に生かしているのか。今後は、どのように生かしていくのか伺う。

問 区民からのクレームをどのように施策やサービス向上に生かしているのか。今後は、どのように生かしていくのか伺う。

施設設置基準の見直しについても対応していきたい。

問 インフルエンザと危機管理体制

問 組織的にどのように区民の安全と安心を確保していくのか。

問 保健所のあり方

問 保健と福祉の融合、保健と子育ての拠点機能、新たなサービスの充実をどのように図っていくのか。

問 医療施設の減少に伴う区の対応

問 区民が身近な地域で安心して医療が受けられるよう、工夫や努力をすべきと思うが考えを伺う。

問 バス路線の充実

問 高齢者や交通不便地域のために、バス路線の拡大や増設をすべきと考えらるがどうか。

問 地球温暖化対策

問 どのよう区民、児童・生徒、企業などへの啓発を進めていくのか。

問 教育振興ビジョンの推進状況と今後の方向性

問 教育振興ビジョンの見直しに当たり、これまでの十分な総括の上に立つて

問 教育振興ビジョンの見直しに当たり、これまでの十分な総括の上に立つて